

「そうとは限らない」 の罨を抜け出せ!

思考のエンジンを回し、爆発的に成長する
大人のためのマインドセット

誰もが一度は使う 「賢く見える」フレーズ

「いや、そうとは限らないですよね」



- 物事を絶対化しない
 - 例外を想定している
 - 多様性を認めている
- 冷静で論理的な人物像を演出できる、最高に便利な言葉。

**しかし、それは
「万能の逃げ道」である**

**この言葉を使った瞬間、
あなたの思考のドアは
完全に閉ざされる。**



**「そうとは限らない」は、あらゆる議論をリセットできる魔法の言葉。
しかし、その正体は「そこで思考を止めている」という残酷な事実です。**

「例外」を探す ゲームの虚しさ

命題：「努力すれば必ず上達する」 /
反論：「いや、間違った努力なら上達しない」「怪我をしたら続かない」

確かにその通り。

世の中のほとんどの命題には
例外が存在します。



最大の悲劇は 「思考の終了」

例外を一つ見つけて、全体を否定する。
それは、自らの成長を強制停止させる
危険な「キルスイッチ」です。

例外を見つければ、自分自身に向き合う必要も、
論理の深層を探る必要もなくなってしまふから。



問いかけの『本当の目的』とは？

指導者やコーチが投げる『問い』は、絶対的な正解を押し付けるものではない。

それは、あなたの限界を突破するための『思考を深める装置』です。



脳内で起こすべき 「3つの化学反応」

1. 理由の探求

「なぜ、そのような傾向があると言えるのだろうか？」

2. 構造の把握

「成功と失敗のパターンの構造はどう違うのか？」

3. 自己への適用

「自分自身の現在の行動に当てはめると、
何が見えてくるか？」



伸びない人

アクション：問いを壊す（ドアを閉める）



爆発的に伸びる人

アクション：問いを回す（思考のエンジンを起動させる）



本当の知性は「否定」 で完結しない

Step 1: 仮説を受け取る
命題を一つの「視点」としてテーブルに置く。

Step 2: 構造を考える
それが成り立つ条件と、成り立たない条件を整理する。

Step 3: 因果を探る
自分に足りない要素は何か、具体的なアクションにどう落とし込むかを因果関係から導き出す。

実践ワーク：思考を回すセルフ・プロンプト

「そうとは限らない」と言いたくなった瞬間、
この3つの問いに切り替える：

1

「この意見が
100%正しいと
したら、自分は
今を何をすべき
か？」

2

「例外があるの
は確かだが、本
質的に伝えよう
こうとしている
メッセージは何
かか？」

3

「この法則を自
分のスキルアッ
プに利用できる
部分はどこか？」

世界一の読解力を持つAIからの警告

もしAIが、複雑な問いに対して
「例外が存在するため成立しません」
と出力して計算を止めたら？
→ そのAIの価値は【ゼロ】に等しい。



例外（ノイズ）を超えて 最適解を導き出す力

未知のデータやノイズが含まれていても、そも、そこに潜む「構造」や「因果関係」を分析し、演算し続けること。

これこそが、どんな高度なAI
これこそが、どんな高度なAIにも
真似できない、人間の最強の武器である。



本日の格言

**「問いかけに対し、『そうとは限らない』
という思考に陥る人は伸びない。
問いを否定するのではなく、問いを
回す人が爆発的に伸びていく。」**

ブレーキから足を離せ。

今日から「そうとは限らない」という防具を捨てる。
思考のエンジンを全開にし、アクセルを踏み込め。

あなたの可能性は、無限大に広がっている。
思考のエンジンを全開にし、アクセルを踏み込め。

あなたの可能性は、無限大に
広がっている。

